

丸山湿原群保全の会会報

(第 212 号)

発行日：2025 年 (R7) 3 月 19 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

「石破お前もか！」というニュースが飛び込んできました。1 年目衆議員議員を会食で接待？お土産に 10 万円のギフト券。「いいな～いいな～」しかもポケットマネーで…。会食の費用はいくらだったんでしょうか？1 人 1 万 5 千円とネットでは流れていて「安い所を探した」そうです。しかも総理大臣公邸で。(実は慣例だったのではと思いますが…石破おろしのリークか？)

忘年会・新年会に会費 1 万 5 千円と言ったら誰も来ない私の身近。(いや来るか?) 会食費 27 万円 (官房長官・官房副長官 2 名も参加)、お土産代 150 万円。計 177 万円。ポケットマネー? 「自腹」とか「私費」とか言われたらまだ感じが違うんですが…そこで調べました。「生活保護費」宝塚市で、60～64 歳 2 人暮らし「持ち家」ありの場合 (うちの家族構成です)、年間 148 万 1880 円だそうです。2 人ですよ。(ネットの算出アプリで計算、概算ですが) 2 人暮らしの生活保護費 1 年間の金額を軽く超える金額。非課税世帯に 3 万円支給とのギャップになんとも。

国会議員 1 人に年間 7500 万円の経費が出ている (JR・航空費クーポン・公設秘書代などを含む) そうで、会食に呼ばれた議員にも当然給料やボーナス、文書通信費諸々として出ている。「経費」ですからお金が必要なんだろうが…。やっぱり政治家は儲かるんやと実感したニュースでした。怒る議員さんもいるとは思いますが。でもね…。「米の値段が高くなって庶民は困っている」と議論としては成立しても、実感はないのでしょうか。生産者から「何が高いねん？」という声が聞こえてきそうです。実際高くはないんです…農水大臣の「適正価格が分からない」との発言も問題ありだと思います。選挙で当選したら丸儲けの世界なのでしょうか?

そのお金、そんな事に使わずに「国民があまり関心のない、しかし生き物の生存のベースとなる生物多様性の保全」に「ポケットマネー」程度でも寄付していただきたいものです。

またまた長々と変な話題で申し訳ありませんでした。

(今住 3 月 15 日作成)

予告 ★「北摂里山愛す会 (北摂里山大学 OB 会)」との協働

前回予定には入れましたがちゃんと連絡していませんでした。今年度は 3 月 23 日 (日) に恒例となった「北摂里山愛す会」との共同作業を行います。集合は 10:00 丸山湿原駐車場。午後も活動予定です。午前中のみ、午後のみ、途中参加、途中離脱なんでも OK。ぜひご参加ください。一般参加も大歓迎します。「つらい」ことをするのも、「ゆるい」ことをするのも自由。お気軽に。観察 ニチアカ オタマジャクシ約 5mm 3 月 8 日のみでも OK です。ひょっとするとセトウチサンショウウオの卵囊がわんさか見つかるかもしれません。今年は産卵が遅れているような? (タムシバも咲き始めているかもしれません)



はなみずき保育園分園・やまぼうし保育園分園**★2月20日(木) 27日(木) はなみずき・やまぼうし両分園見参!**

前回のはなみずき本園に続き見参です。この2園は今年2回目。両日とも天気も良く絶好の「あそび」日和でした。

20日のはなみずき分園は「短縮コースでお願いします」とのこと。この春で卒園する園児たち。最後の発表会に向けて猛烈な練習をしているような。保育士の先生方はお疲れ気味なんですが、園児たちは元気！元気！練習のことなど全く頭にない様子。早めに帰ってさらに特訓？をするとか。ご苦労様です。成長した姿を保護者の皆さんにしっかり見せてあげてください。がんばれ！大人。

短縮コースとは言っても、前回の「はげ山コース」後半。



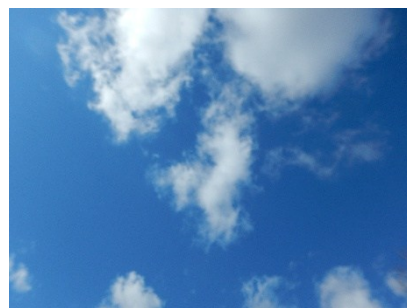
こんな所行ってもいいの？

第1湿原から「シルトロード」を登り、はげ山からはげ山の連続コース。危険がいっぱい…。園児たちはそんなことも知らず、やはり水の少ない川からスタート。倒木が流れ着いた木のバリアーをものともせず沢？を登る登る。ふと見ると、園長先生も一緒に登る登る！やるな…楽しそう。でもいつも「こんなんええんやろか？」と思いつながらのチャレンジです。普段から外遊びで鍛えている雰囲気伝わってきます。たくましい！



なぜか人気 わたりにくい丸太木道

第3湿原通過。「特に何もなし」。木道の丸太橋は大好きなようです。第1湿原で小休止。お茶タイム。ここでカメラを奪われる。でも見事な写真を撮ってくれました。青い空に白い雲。「お空好きやねん」と言っていた姿に心が洗われるこちでした。そのときは結構「憎たらしい」…なんですが。怒ったらあかん。でもカメラを奪うんですから…すっと渡してるか？



「お空」園児撮影



園長先生楽しそう！

り刷り込まれていました。この時代にこんな遊びができるなんて夢のようではありませんか？私の子ども時代、学校帰りの道草遊びを思い出しました。ただの昭和ノスタルジーか？

27日(木)のやまぼうし分園は、発表会が終了していたらしく時間がたっぷりありました。はげ山フルコースご招待。同じ系列の保育園と

はい個性は違う。トランプさんの登場でダイバーシティの危機ともささやかれています。「個性全開」。「変わり兜」の登場です。フルコースですので、第2湿原周辺からのコース。間伐された疎林。枝を拾ったり、サカキ(榊)の枝・シダ類など頭(兜)に「鍬形」として付けていきます。まるで戦国時代の武将。目



こわいこわい 僕は行かない



シダの変わり兜



横棒 鍬形 変わり兜



神のご加護あり？ 榊兜

立つことで狙われやすくなりますが、猛者の象徴。これから経験する「地獄」への暗示にも見えました。さて鉄塔を通過後、第1湿原視点場で休憩（水分補給）。そして「いざ出陣！」となりました。

はげ山からはげ山への渡りなのですが、今まであまりにも急で危険か？と思っていたズリに挑戦！本当に急峻な所で最大斜度40度ぐらいか？（誇張あり？）

上から見ると絶壁のよう



上がれません 蟻地獄 次々と獲物が

に見えます。2日前に小学校3・4年生の環境学習でなんとかだったので「行け！行け！」とついあおってしまいました。猛者たちはためらいもなく下っていく。土（真砂土に近い）が柔らかく意外にゆっくりと「ふわふわ」した感じで下りていきました。しか〜し！戻ろうとすると急傾斜と土の柔らかさのため足は空回り。誰が言ったか「蟻地獄」。救出に向かうレスキューガイドはなんと1人！レスキューも「蟻地獄」にはまって戻れない。まさしく「阿鼻叫喚」の世界が繰り広げられました。上から見てみると「楽しそう」に見えるようで、次々と子蟻



ここは下るだけだから…

たちが滑り下りてきます。巨大ウスバカゲロウの幼虫がいないことに感謝しました。諦めるわけにもいかず、下からお尻（セクハラか？）を押し上げ押し上げ、少しずつ上へ。しかし次の獲物が下りてくる。まさしく地獄。この日に限ってロープを持ってこず。汗まみれ土まみれの地獄体験でした。ほっといたらみんな泣きまくってたな…。やめときゃよかったと反省しました。最悪の場合は下に下ればよかったのですが…。やはり「成功体験」と思い、いや「恐怖体験」？トラウマになっていたかもやね。ホンマしんどかった…。誰がや！最後は安定の下るだけロングズリコース。ここを安心して見ていられるのはちょっと麻痺しているのかも…ま〜とにかく満足して園児たちは帰って行きました。今後も事故の無いように気を付けて取り組んでいく所存です。今後ともよろしく願いいたします。



バイバイ

西谷小学校3・4年も登場 ★2月25日（火）今日は労働！頑張っ！

小学校環境学習最終回。もはや恒例となった「又マガヤ運び出し」協力。本当に助かっています。



教頭先生頑張ります！

数年前には「お金もらわな」と言われたのを思い出します。まさしくその通りだと毎年感謝と尊敬の念を持ってお手伝いいただいています。今回は教頭先生、担任の先生、保護者の方2名もご参加頂きました。特に教頭先生の働きには目を見張るものあり。ありがたやありがたや…。複式学級になってから作業2回目の4年生も来るようになり、大変スムーズに進んでいきます。刈り取った又マガヤで作る又マガヤハウスも継承されるようで、ベッド？ソファ？いろいろ楽しんでいました。



児童も共同作戦

ノコギリの作業も体験しました。(希望者のみ?)今年度は「ひょうご里山フェスタ 2024」のイベントとして「やまもり山里」さん



ヌマガヤベッド?ハウス?

でも体験しているようです。そこでちょっと「でかい木」を伐採。第1湿原バッファゾーンにあるリョウブ(令法)など間伐予定の木を伐ってみました。こちらもなかなか頑張ってしっかりと倒していました。その後、両生類の卵の観察へ。朝方雪がちらつき氷も張っていましたが、アカガエル(赤蛙)類の卵塊は増えていました。「気持ち悪!」と言う子もいますが、いて当たり前。無理に見なくていいよ。以前見つけていたセトウチサンショウウオ(瀬戸内山椒魚)の卵囊はどこに埋まっているのか発見できず。残念!その後、時間があるということではげ山コースへ。「保育園」のところで紹介した「蟻地獄」、この子たちはやはり大きいからか何とかクリアしていました。(この感覚で園児に実施してしまった…)さて、来年はどうなるのか?児童の数はさらに少なくなりそうです。ただ、西谷小学校は来年度(2025年度)から宝塚市内どこからでも入学できるようになるようです。ひょっとしたら爆発的に児童数が増えるかも?県・市の天然記念物「丸山湿原」で自由に?遊べる学校!西谷小学校大人気…となればいいのですが。なかなかね。



ヌマガヤソファで一休み



さすが小学生自力で脱出

両生類卵塊数調査・定期活動

★3月8(土) 宣伝せず密かに実施 12名(一般1名含む)

目的	市内	市外
丸山	92	24
ハイキング・登山	62	70
散歩	22	15

来場者数計 285人

(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導(EC)	PH
入口	10:05	6℃		
第3湿原	10:25	【7.0℃】	26.8μS/cm	5.5
視点場	10:50	7.9℃	36.5μS/cm	5.6
第1湿原	11:05	【7.8℃】	30.0μS/cm	4.9
第2湿原	11:45	【4.8℃】	31.5μS/cm	6.3

宣伝なしの「両生類卵塊数調査」を実施。アカガエル類、セトウチサンショウウオの卵は2月に



第3湿原調査風景

確認していますが調査の時には見つからないことも。一般の参加者にもぜひセトウチサンショウウオの卵囊を見ていただきたいのですが。第3湿原にはアカガエル類の卵塊が1つ。第3湿原ではカエルの卵は珍しい。安定した水の溜まりが下流にできかけているからでしょうか。他は見つからず、第1湿原へ。アカガエル類の卵塊は多数。オタマジャクシになっているものも。バラけたものも多数。セトウチサンショウウオの卵囊は?なかなか見つからない。やっと1対と1片。悔しいので調査区域にしていけない第4湿原へ。下流では見つからず上部山際へ。そこでは房状になった13対もの卵囊が見つかりました。産む時期が年々ずれるのは環境の変化なのか、よく分かりません。環境はそれほど変わっていないはず。(気候の問題か?)月末にまた見つかるかもしれません。総個体数がどう変化しているのかは不明。いることだけは確かなのですが…「卵塊数調査」の限界か?

結果:第1湿原~第4湿原総数 アカガエル類卵塊 45 セトウチサンショウウオ卵囊 14.5 となりました。おっと2月23日(日)定期活動のレポート抜けました。ヌマガヤ刈りです。ごめんなさい。いったいなんの会報なのか不明状態です。ご意見くださいな~。

次回活動日 3月23日(日) 愛す会との協働作業 4月12日(土) 27日(日)